

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2554 号

Does synchronous early head and neck cancer with esophageal cancer need treatment after preoperative chemotherapy?

食道癌に併存する早期頭頸部癌に対する術前化学療法後の追加治療の必要性について

金森 浩平 (かなもり こうへい)

博士 (医学)

論文内容の要旨

切除可能胸部食道扁平上皮癌に同時性に併発する早期頭頸部癌の患者に対する治療法は決まったものはない。また、頭頸部癌を含む固形癌に対する根治目的の化学療法は標準治療ではないため、早期頭頸部癌に対する化学療法の効果については報告されていない。本研究の目的は、切除可能胸部食道癌に併発する早期頭頸部癌の治療成績を調査することであった。

2008年1月から2018年12月までに、同時性早期頭頸部癌を併発した胸部食道扁平上皮癌に対して食道切除術を受けた37人の患者を後方視的に検討した。

患者37人のうち27人は頭頸部癌治療の前に食道癌に対する術前化学療法を受け、27人中16人は術前化学療法により頭頸部癌の完全奏効を得た。16人中15人は追加治療を受けず経過観察とし、頭頸部癌の局所再発を認めなかった。他の1例では、経口切除が行われたが、病理学的に癌細胞の遺残を認めなかった。完全奏効を得られなかった症例を含め、経過観察のみを行った15例と、手術または放射線照射を行った22例において予後を検討した。全生存率および無病生存率に有意な差は認められなかった。

今回の結果から、食道癌に同時性に併発した早期頭頸部癌において、術前化学療法が奏効した場合は追加治療なしで経過観察可能であることが示唆された。